



学校便り

平成29年度一臨時号

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果報告について

平成29年度の全国学力・学習状況調査が4月19日に6年生児童を対象に行われました。
その調査結果に基づいて、報告いたします。

調査内容 ①国語A 主として知識問題 ②国語B 主として活用問題
③算数A 主として知識問題 ④算数B 主として活用問題 ⑤学習状況（生活実態）調査

1 結果

国語A 主として知識問題 (平均正答率%)

	武庫小	兵庫県	全国
全体	73	75	74
話すこと・聞くこと	62	70	69
書くこと	62	59	60
読むこと	66	71	70
伝統的な言語文化と国語の特質	76	78	78

国語B 主として活用問題 (平均正答率%)

	武庫小	兵庫県	全国
全体	59	57	58
話すこと・聞くこと	64	64	65
書くこと	53	53	53
読むこと	50	49	49
伝統的な言語文化と国語の特質			

算数A 主として知識問題 (平均正答率%)

	武庫小	兵庫県	全国
全体	79	78	79
数と計算	82	80	81
量と測定	70	69	69
図形	82	82	81
数量関係	79	78	80

算数B 主として活用問題 (平均正答率%)

	武庫小	兵庫県	全国
全体	45	46	46
数と計算	53	53	53
量と測定	40	49	47
図形	11	15	13
数量関係	41	40	40

2 各教科の設問別状況

【国語A】全体では全国を2ポイント下回っています。特に「話すこと・聞くこと」については、互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合う力に課題が見られます。

【国語B】全体では全国を1ポイント上回りました。物語を読み、叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる記述式の問題では10ポイント下回り、無回答率も高く、課題が見られました。

【算数A】全体では全国とほぼ同じになりました。小数に関する計算は正答率が全国を10ポイント上回っていました。しかしながら、重さ、長さについての任意単位による測定については7ポイント下回り、資料から2次元表の欄に入る数を求める問題も8ポイント下回っていました。

【算数B】全体では全国とほぼ同じになりました。料金の差を求めるために、資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する問題は13ポイント全国より上回っています。平均に関する2つの問題では共に7ポイント下回り、課題が見られました。

課題の部分については復習する等、繰り返して指導してまいります。今後の児童の学力向上に向けた学校の取り組みとして、国語科や他の全ての教科において児童が自ら考える時間を確保したり、話し合いによって課題解決をしたりして「主体的・対話的で深い学び」へと授業改善を進めていき、自分の思いや考えを表現できる児童を育てていきます。また、算数科では基本的な計算力の確実な定着を図るとともに、長さや重さなどの単位の概念が実際の生活と結びつけられるよう、日常生活に関する問題を取り上げ、表や図や数直線などを活用しながら学習を行うなど、指導の工夫に取り組んでまいります。

3 学習状況（生活実態）調査の結果と分析（数値は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」合計%

	質問事項	武庫小	尼崎市	全国
1	朝食を毎日食べている	97	94	95
2	毎日、同じ時間に寝ている	68 ↓	74	80
3	毎日、同じ時間に起きている	89	88	91
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった	94	92	95
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する	66	69	77
6	自分には、よいところがあると思う	86 ↑	72	78
7	将来の夢や目標を持っている	86	84	86
8	普段(月～金)2時間以上テレビ・DVDを見ている	66 ↑	58	58
9	普段(月～金)2時間以上ゲームをしている	44 ↑	39	31
10	学校の授業以外に1時間以上勉強している	52	55	64
11	家で計画を立てて勉強をしている	48	51	65
12	家で学校の授業の予習をしている	21 ↓	30	41
13	家で学校の授業の復習をしている	28 ↓	37	54
14	学校に行くのは楽しいと思う	78	80	86
15	学校で友達に会うのは楽しいと思う	93	95	96
16	学校で好きな授業がある	92	91	93
17	学校のきまりを守っている	89	86	93
18	国語の勉強が好き	42 ↓	54	61
19	算数の勉強が好き	63	61	66
20	読書が好き	69	72	74

武庫小学校と尼崎市や全国と比較すると、「自分にはよいところがある」については8～14ポイント上回っています。「また学校で友達に会うのは楽しい」「学校では好きな授業がある」についても90%を上回る児童が肯定的回答をしていることから、多くの子どもたちが、楽しく学習・生活していることがわかりました。「2時間以上テレビを見ている」「2時間以上ゲームをしている」等が尼崎市や全国と比較しても多く、家庭学習の時間が短く、自主的な学習に取り組んでいる児童も少ないとの結果がでました。これを機に家庭においての過ごし方やルールなどについて話し合っただけ、家族とのふれあいや学習や読書の時間を大切にしていだけたらと思います。

以上の結果をお知らせ致しますと同時に、子どもたちの健やかな成長と確かな学力の向上に向けて、家庭と学校が一体となり歩んでいくことができますようご協力よろしくお願い致します。